

1月15日 創立記念日にあたり、京極理事長より施設内ボランティアのご利用者の皆さんに、感謝状と記念品が手渡されました。



2月号

平成 30 年 2 月 1 日発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 TEL (代表) 03-3334-2101
<http://www.yokufukai.or.jp/>
 【振替】00140-7-122882
 【編集者】露口 長
 【印刷所】株式会社サイド・ビー

人権宣言と社会的マイノリティ

日本福祉大学福祉経営学部 招聘教授

田島 誠一



今年は、世界人権宣言七十周年です。

宣言の第一条を、詩人の谷川俊太郎さんは次のように訳しています。

「第一条 みんな仲間だ

わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。ひとりひとりがかけがえのない人間であり、その値打ちも同じです。だからたがいによく考え、助けあわねばなりません」。

また、七十周年を迎えるにあたり国連は、事務総長メッセージを発しています。「人権宣言がうたう権利は毎日、私たち全員に関係してきます。それは平和な社会と持続可能な開発の基盤でもあります」。

世界人権宣言は、福祉サービスの基礎になるものです。浴風会も定款第一条の目的で「利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援すること」と定めているところです。

社会的排除や孤立が広がり、好景気の陰で生きづらさを感じ

る人々が増えています。政府も「障害者、難病患者、がん患者等も、それぞれの希望や能力、障害や疾病の特性等に応じて最大限活躍できる地域共生社会の実現を目指す」ことを政策目標の柱に掲げ、「性的指向、性自認に関する正しい理解を促進するとともに、社会全体が多様性を受け入れる環境づくりを進める」ことで「全ての人が地域、暮らし、生きがいと共に創り高め合う地域共生社会」の実現を目指す」と述べています。(骨太方針2016(平成28年6月2日))

福祉サービスの現場では、利用者一人ひとりに寄り添うケアを一層進めること、拘束や不適切な対応をしないこと等、人権に配慮した取り組みが行われていますが、サービスを提供する側すなわち職員の人権を守ることも、さらに積極的に取り組んでいく必要があるだろうと思

(浴風会評議員)

参考資料↓杉並区立男女平等推進センター情報誌「ゆうCan」第55号、2017年3月

https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_001/013/829/youcan55.pdf

創立記念日永年勤続表彰

表 彰 等	所 属	職 種	氏 名
勤続 40 年	浴 風 園	調理サブチーフ	片桐 正樹
勤続 30 年	第二南陽園 在宅サービスセンター	ケアリーター	渡辺 浩人
	第三南陽園	ケアワーカー	西村 保秀
	認知症介護研究・ 研修東京センター	運営部 主管	村上 和夫
勤続 20 年	浴風会病院	薬剤科副主任	奥田真佐志
	浴 風 園	調 理 員	奥野 達也
	南 陽 園	ケアワーカー	茂呂麻衣子
	第二南陽園	サービス課長	山崎かおり
	第二南陽園 在宅サービスセンター	ケアサブリーダー	安井 有紀
	ひまわり	ホー ム 長	佐々木弘美
	老 健 くぬぎ	ケアワーカー	飯塚 千恵
	浴風会病院	企画経理課長	安井 琢真
	浴風会病院	看 護 長	加 固 研
	浴風会病院	看 護 師	阿保 友子
	浴風会病院	ケアリーター	佐田 善和
	浴風会病院	ケアワーカー	杉 山 崇
	浴風会病院	施設設備管理 課 長 補 佐	高橋 雅仁
	本部事務局	経理課長補佐	橋 吾 郎

創立記念式典

1月15日は当会の創立記念日（93周年）でした。毎年この記念日に、永年勤続の職員表彰並びに会内ご利用者ボランティアへの感謝状贈呈式が行われます。本年は別表のとおり永年勤続40年の職員1名、30年4名、20年13名に対し、京極理事長から表彰状と記念品が贈られました。

また、1年以上に亘り各施設内外で環境美化、清拭たみ等、様々なボランティアを行っている会内ご利用者の皆様に感謝状と記念品が贈られました。今回初めて感謝状を受けたご利用者は21名、前年より継続して行っている方々が57名、合計78名に及びました。

理事長より対象職員に対してはねぎらいと更に当会の発展に寄与いただきたい旨、ご利用者に対しては感謝と今後とも健康にご留意しながら引き続きご協力下さるよう挨拶がありました。

永年勤続者の方々と共に
理事長を囲んで



この40年間のことを振り返ると数多くの出会いの連続でした。その中には良い出会い、悪い出会い、また組合をやっていたこともあり地域や他の施設の人たちとの出会いなど様々な出会いがありました。その中で特に印象に残っている出会いの一つに、幻のいとこの出会いがありました。

それは浴風会に就職して10年目ぐらいのこと、病院検査科にH君が入ってきました。彼は私と同年で出身も同じ長野県出身ということで、すぐに意気投合しました。どんな話をしたのかは今では全く覚えていませんが、一年ぐらいたったときだったかと思います。彼の父の出身が私の実家と同じ町だということです。聞けば私の実家から100mも離れていない近所さん同士でした。そこで、もしかしたら幻のいとこではないかという考えが浮かんできました。私の父は母と結婚する前に一度離婚しているのです。その離婚相手がH君の父の妹つまり彼の叔母ではないかという疑問です。実家に帰った折に母に聞くと、母の答えは彼の話と全く符合するのです。その時私は「彼は幻のいとこだ」と確信しました。それからしばらくして彼は何も言わずに浴風会を辞めてゆきました。だからその確信を持った話はお互いにできずじまいでした。でもきつと彼もそのことはあとで知ったに違いありません。

この話をわたしは02年に亡くなった父には話すことができませんでした。今にしてみれば「話をしておけばよかった」と後悔しています。この広い東京で、しかも浴風会でこんな出会いがあるなんて不思議な話です。だから特に印象に残る出会いの一つになりました。

それではよい出会いって？・・・それは「言わずもがな」です。

40年を振り返って

浴風園 片桐 正樹



浴風会こぼれ話

見つけた! 「裸の大將

礼拝堂を描く」の掲載紙

川崎 貞(浴風会参与)

昭和40年に画家の山下清さんが浴風会を訪れ、「山下清の職場訪問」というタイトルで浴風会礼拝堂を描き、新聞に掲載された(「裸の大將礼拝堂を描く」として「浴風会80年のあゆみ」196ページ、「浴風会誌」23号で紹介)。そのもととなる掲載紙を探していたところ、先日、地元の図書館で「山下清と昭和の美術」「裸の大將」の神話を超えて(服部正、藤原貞朗共著、2014年2月28日名古屋大学出版会刊)を見つけ、何か手があるかと繰ってみると、1枚の写真が目に入り込んだ。

それは、浴風会に残っている掲載紙のスタイルとそっくりであり、文章には、「スポーツニッポン(略)」の連載は三部に分かれ、まず昭和38年11月から翌年9月まで、(略)年が明けた昭和40年1月から8月まで連載は続く。(略)総題は『いつもホントにありがとう! 山下清の職場スケッチ』で、24回連載となっている。」とあった。

さらに年譜を手繰ると、昭和40年の欄に、『山下清の職場スケッチ』の「その5」より『山下清の職場訪問』と改名とあり、1月6日「その1」(消防署の皆さん)から、「その24」(文化財を守る人々)まで羅列されているが、肝心の浴風会は見当たらない。

そこで、国立国会図書館に行き、新聞資料室で昭和40年9月のスポーツニッポンをマイクロフィルムから探してみると、9月15日付の新聞に「そ

の25」として、浴風会礼拝堂のものが掲載されていた。これで長年の胸のつかえが取れた。「80周年史」の資料の補充ができ、一安心した。

なお、山下清さんは絵に添えて、次の文を寄せている。

「スウェーデンのストックホルムというところへいったとき、町がきれいでルンペンや頭のおかしな人もさっぱりいず、みんながのんびりとしているのにびっくりしました。ぼくが半日ばかりで有名な市役所の庭をスケッチしていたとき、ぼんやりとひなたぼっこをしている年よりが何人もいましたが、みんなりっぱな様子をしていて、びんぼうくさいさびしさがありませんでした。それはどういうわけかという、スウェーデンという国は世の中をよくするための設備がよくそろっている、ただの病院だの老人ホームがたくさんあり、日本などよりずっとすんでいるということを教わりました。

ところがこんど浴風園という年よりのための施設を見学して、日本でも年よりを大事にする設備はスウェーデンにまけないくらいだと思いました。どうしてかという、日本はむかしから年よりを大切にしている気持ちは外国にまけないので、そこへ外国風のすずんやり方を取り入れた老人ホームは、とても

(スポーツニッポン 昭和40年9月15日号より)

いつも
ホントに
ありがとう!

《老人福祉に奉仕する人々》

山下 清の職場訪問 その25

きょうは「としよりの日」。敬老精神を高めるため、昭和27年に設けられたこの行事は、日本人の平均寿命が順調に伸びるに従い年々盛大になりました。ことしも政府を始め全国各地で、老齢をお祝いし激励する催しが行われますが、同時にわたしたちは、おとしよりの福祉を守るため、老人ホームや各種施設でたゆまず奉仕を続けている数多くの方々の努力にも、深く感謝したいと思います。



浴風会の動き (1月)



第三南陽園新年お祝い会飾り

【本部事務局】

4日 「年頭拡大経営企画会議・幹部会議」を開催

11日 愛媛県松山広域福祉施設事務組合(栗原松山市議会議員長等) 一行15名視察

15日 法人創立記念日「永年勤続者等表彰並びに利用者構内ボランティアへの感謝状贈呈式」を開催

26日 東京医科歯科大学看護科学生14名見学・ケアワーカー正職員登用試験実施5名

31日 「第14回職員実践・研究発表会」開催 (浅井)

◆施設長人事(平成29年12月27日付)
浴風会ケアハウス園長

退任 島津 照幸
就任 西村 茂 (松風園長 兼務)

浴風会ケアスクール

Caféオレンジリボンウッド

10日 よくふう語ろう会(認知症介護家族会)実施。参加者26名。次回は2月14日(水)10時30分から本館第三会議室にて開催します。

19・20日 特別区職員互助組合介護講座

「実践！介護技術のコツ」寝たきりをつくらない介護」講師…関口久美子氏・田中義行氏(職員)石渡・木村・佐々木・三浦・井上・山崎・山内。参加者39名。

26日 caféオレンジリボンウッド開店。来店者49名。ボランティアの方のご協力により、アコーディオンの演奏会も開催しました。

今回は2月23日(金)の開催です。パン、焼き菓子、コーヒーの他素敵な小物の販売と、折り紙など一緒に楽しめる手作りコーナーもあります。みなさまのご来店をお待ちしております。



【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

元旦 新年のお祝い会を開催しました。食堂に一堂に会し、皆様一緒にお正月料理をお楽しみいただきました。

10日 第六天神へ初詣に出かけました。寒さを感じる陽気でしたが多くの方が参加され、職員と共に一年の健康と平安を祈願しました。

松風園 (軽費老人ホーム)

1日 毎年恒例の元旦式典を行いました。お正月飾り等華やかな雰囲気の中、お祝膳やお雑煮をいただき、新年を祝いました。皆様の演芸も披露され、楽しいひと時となりました。



浴風会ケアハウス

1日 今年最初の行事、新年祝いを開催しました。気持ちを新たにケアハウス2018年のスタートです。

4日 今月の歩こう会は、毎年恒例の第六天神への初詣を行いました。

17日 お茶室にて初釜と百人一首の会を開催致しました。

【介護保険事業】

南陽園 (特別養護老人ホーム)

1日 「新年祝い会」を行いました。お屠蘇、お雑煮、おせち料理と豪華な食事を楽しみ新年を祝いました。本年もよろしくお願い申し上げます。

1・7日 近所の第六天神まで「初詣」に出かけました。一年の感謝を捧げ、新年の無事と平安を祈願してきました。

2日 「書き初め」を行いました。皆様、真剣な表情で筆をはらせていました。

15日 「浴風会創立記念式典」が行われました。永年勤続の職員の表彰と、施設内でご利用者が行っているボランティア活動の表彰を行いました。

南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

当センターのデイサービスでは、地域の認知症の方に、機能訓練やレクリエーションなどのサービスを提供しています。

一月の積雪の日及びその翌日は、安全のため送迎時間の変更等をさせていただきます。

きましたが、デイサービスを営業致しました。

これからも、認知症の方やそのご家族が安心して地域で暮らしていけるようサポートをさせていただきます。

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽に御連絡下さい。

◎電話03-3334-2743 (鈴木・杉山)

第二南陽園

(特別養護老人ホーム)

1日 新年祝会・書初めを行いました。11日まで、ご家族にもお越しいただき、一緒に近くの第六天神まで初詣に出掛けました。

11日 鏡開き

15日 浴風会創立記念日でもあり、ご利用者が施設で行なっているボランティア活動の表彰も行なわれ、当園では一年以上毎日ボランティアの方で18名のうち初受賞の7名が表彰を受けられました。

31日 職員実践研究発表会では、1階ケアワーカーが、「インカム導入の効果」リアルタイムでの情報共有を目指して」を発表しました。

第二南陽園在宅サービスセンター

(通所介護、介護予防通所介護)

本年は1月4日より営業を開始しました。お仲間と初詣に行き、抱負を書きとめ、おやつの際に甘酒を飲みました。寒いと縮こまりがちと仰る方もいますが、ストレッチ体操等で伸びをしてみましよう。ご自宅ではできない何かを体験してみませんか。



ご見学の問い合わせ先..

◎03-3334-2140

第二南陽園

(特別養護老人ホーム)

元旦 新年祝いを行いました。おせち料理、お雑煮を召し上がり、お屠蘇を飲まれ「物足りないかな、もう少し頂きたい」「飲むと酔っちゃうかな？」と和気あいあいと楽しい宴となりました。午後には書き初めを行い「元旦」「かるた」「希望」など力強く書かれました。



1～15日は初詣週間です。第六天神様に初詣に行き、皆様、真剣に手を合わせておられました。初詣週間のもう一つの楽しみは、「甘酒」です。温かい甘酒を飲んで「美味しい」と大好評でした。

(谷口)

グループホームひまわり

お正月 皆さん健康で新年のお膳をかこみました。お屠蘇でお祝いし、おせちを頂くと「あーまた年とっちゃうわね」と明るい声が聞かれました。書初めや、百人一首を行い、お正月を楽しんでいただきました。

初詣 今年は寒い日が多く、少しでも暖かい日、風のない日を選び、第六天神へ初詣に行きました。真剣に手を合わせていらつしやいました。「やつぱり神社にくると気持ちがあつたりするね」など聞かれ、素敵な笑顔で新年をお迎えする事が出来ました。

(今井)



【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

地域住民同士の支え合いで、街や生活をより豊かにしたい！という想いで平成27年度『ちよこつと支え合い』がこの高井戸地域で始まりしました。日常の暮らしの中のちよつとしたお手伝いをする有志のボランティア団体です。利用者も年々増えて、一緒に活動するボランティアも募集しています。誰でも人の役に立てる力を持っていることを前提に、皆さん活き活きと活動されています。地域の助けあいになり、介護予防にもつながっています。仲間になりたい方、ご連絡お待ちしています。



地域包括ケア推進員・尾関まで
◎電話03-3334-2495

(尾関)

【病院事業】

浴風会病院



当院では「脳の人間ドック」を行っております。MRI(高性能磁気共鳴装置)やCTスキャン、脳波などを組み合わせて多方面から脳の状態をチェックします。認知症や寝たきりの原因となる脳血管障害の早期発見や、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤の発見が可能となります。「脳の人間ドック」は予約制で、健診日は水、木(祝日を除く)の午後となっております。詳しいお問い合わせ、ご予約は浴風会病院医事課までお願いいたします。

ます。皆様のお申し込みをお待ちしております。

◎03-3332-6511(代表)

(中澤)

老健くぬぎ

(介護老人保健施設)

年が明けて、入所・通所ともに利用者様とともに新年をお祝いしました。入所の方にはおせち料理の提供、通所の方は正月にちなんだレクレーションや甘酒の提供を行い、大変好評をいただきました。※インフルエンザやノロウイルスなど感染症の時期になりました。施設内でも感染予防対策を実施しております。ご面会等でご迷惑をお掛けしますがご協力お願いいたします。

※数年ぶりの大雪の影響で23日のみでしたがデイケアを休業させていただきました。今後も、送迎時の安全確保が困難な場合は営業を見合わせる場合もございます。何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

(森屋)

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。

◎03-5336-7701(代表)

◎03-5336-7734(入所)

◎03-5336-7704(デイケア)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

16日 全国運営協議会開催(仙台市・3センター合同)

22日 第3回後期認知症介護指導者養成研修(東京センター・22名研修中)

25日 倫理委員会・利益相反委員会開催
26日 第3回認知症地域支援体制推進合

同セミナー開催(東京都内・受講者数次号報告)

(村上)

●訃報

浴風会ケアハウス園長 島津照幸氏は、かねてより病氣治療中のところ、昨年12月26日に永眠されました。享年62才でした。

故島津園長は約30年に亘って当会病院、特養、軽費老人ホームのケアワーカー、生活相談員、副園長等を歴任し、各施設の運営にご尽力を賜りました。ここに心から哀悼の意を表すとともに謹んで報告いたします。



ご芳志

平成29年12月16日から

平成30年1月15日

多くの方々よりご芳情をいただきました。

ありがとうございます。

〈金品・物品〉

林 泰様、風間 八一様、

林 四郎様、土屋 雄一様、

宗教法人大日然教 折茂 美枝様、

山田 佐智子様、宮沢 郁子様、

株式会社日建設計機、

株式会社大林組様、

大成建設株式会社様、

株式会社東芝様

●ほか、各施設にもいただいております。

浴風会病院 診療案内 ⑧



神経内科の診療について

神経内科医長 袖山 信幸

浴風会病院は敷地内に特別養護老人ホーム、老人保健施設等の介護施設を複数併設していることから、高齢の患者様が数多く受診され、また近隣にお住いの方や、他の医療機関からのご紹介等でも多くの方がご利用受診されています。

《特に慢性期の神経内科の方》

高齢の方々は脳血管障害、認知症等の脳・神経系の疾患に罹患されていることが多いため、当院では慢性期の神経内科領域疾患の診療には特に力を注いでおります。

《一般の方が初めて受診》

神経内科の専門外来は月曜日の午前に吉田医師、火曜日の午前に袖山医師がそれぞれ担当しています。初めて神経内科への受診を希望される方は、月曜日から金曜日の初診外来をまず受診していただき、そこから神経内科専門外来に御案内しております。

《他の医療機関から受診を希望される場合》

既に他の医療機関で神経内科領域疾患の診療を受けておられる方で当院の神経内科への外来転院を希望される場合には、医療連携・相談室へ「診療情報提供書」お送りいただくとご予約をお受けいたします。

《内科診察でも神経内科専門医が診療》

また当院には専門外来以外でも神経内科専門医が多数在籍し内科診療を行っていますので、その外来でも神経内科外来と同等の専門的診療を受けることができます。



《入院について》

入院診療では神経疾患の急性期診療はもとより、神経疾患をお持ちの患者様の肺炎・尿路感染症等の合併症の急性期治療、慢性期疾患・神経難病・廃用症候群のリハビリテーションや療養、終末期の患者様のお看取り、在宅患者様の介護者の休息目的のレスパイト入院等、多彩な地域のニーズに幅広く対応しております。

当院では上記のような疾病で他の医療機関に入院中の患者様が当院へ転院される場合にも積極的に対応しており、特に平成 29 年度からは転院患者様の積極的な受け入れに大きく尽力するように努めております。



当院の神経内科では患者様ひとり一人が安心して診療、入院、退院等ができるよう体制を整えていますので、入院・転院等を御希望される方は是非、一度医療相談・支援室に御相談ください。

なお、脳梗塞の急性期で血栓溶解術の適応がある場合や脳出血・クモ膜下出血で脳神経外科の受診が望ましい場合には近隣の高度医療機関等への御紹介もいたしております。

ご不安やご心配など思うことがありましたら連絡を頂き受診下さい。

お問い合わせ先： 浴風会病院 (医療相談・支援室)

03 - 3332 - 6511 (代)

編集後記

浴風会は今年創立 93 周年を迎えましたが、本誌も昭和 45 年 10 月創刊以来 394 号を数えます。これからも「地域と共に未来を拓く浴風会」をモットーに紙面の充実に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今号では浴風会の歴史に詳しい川崎参与から「裸の大将」を寄稿いただきました。編集子が子供のころ、ラジオのニュースで山下清さん(写真)が放浪先で見つけたという放送を聞いた覚えがあります。年譜によれば昭和 15 年から 15 年間にわたる放浪生活に終止符を打った後は、全国各地で作品展が開かれまして。今でもその人氣は絶大なものがあります。当会にも足跡を残していたのだという感慨がわきます。

(浴風会中庭にて)



【ご意見をお寄せください】

〒168-8510 ※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

sounmu2@yokufukukai.or.jp

http://www.yokufukukai.or.jp/